

カブ

使用産地：滋賀県など

使用目的：

カブは乾燥・加湿が頻繁に繰り返されると裂根を生じやすいため、水はけ・水もちの良い柔らかかな土を作ることが必要です。 カブの根は深さ60cm前後まで伸びるため、柔らかかな土ほど根が伸長し、ホウ素など微量元素の吸収も促進されます。

団粒構造を作り出す腐植を高めるためには、微生物による有機物の分解が必要になります。加えて未熟有機物は根菜類の肌に悪影響を及ぼす他、罹病した残渣と共に病原細菌などが土壤中で生存します。圃場に投入された堆肥や未熟有機物、前作残渣を微生物で分解し、腐植化を進める事で土壤の生物性・物理性の改善を図ります。

収穫後

散布時期：収穫後すぐに

使用数量：コフナ1号もしくはコフナMPSS 7～10袋以上／10a

使用方法：残っている土中の残根・残渣などの有機物とともに全層混和

効 果：定期的に施用することで団粒構造が形成され、
深くやわらかい土になっていきます。

そ の 他：収穫後は水分もありますので、出来るだけ早くコフナを投入し微生物を繁殖。

収穫後に投入できなかった場合

散布時期：播種までの10日～2週間前までに

使用数量：コフナ1号もしくはコフナMPSS 7～10袋以上／10a

使用方法：元肥とともに全層に混和

注 意 点：未完熟の堆肥と同時には施用しないで下さい。

カブは湿度と水分があると発芽は3～4日目と早いので、

初期に病気が発生する方は早めにコフナを投入し静菌作用を高めてください。

